

提出締切：2009年1月15日

2006年度学内提案公募型研究推進プログラム「基盤的研究」 研究成果報告書
(研究期間：2007年2月～2008年12月末日まで)

研究代表者	所属機関・職名： 氏名：	言語教育情報研究科・教授 東 照二
研究テーマ	会話分析への新機軸:コードスイッチングの新たなる展開	

I. 研究計画の概要

研究の計画について、概要を記述ください。

二つの言語を交互に転換しながら発話をすすめるコードスイッチングという概念を、一言語話者の環境に応用して、会話分析を試みるというのが、本研究の目的であった。特に、語りのスタイルをスイッチするという点で、その会話効果を話者の「顔」の交渉として捉えた場合、何がいえるのかについて、考察を試みた。

II. 成果の概要

今年度の成果について、概要を記述ください。詳細は3ページに記述ください。

スイッチの効果として、聞き手を惹きつけ、好感をもって相手(聞き手)に受け入れてもらうという点が大きな効果の一つであるという知見が得られた。つまり、コードスイッチ(ここではスタイルスイッチ)が、二言語話者と同様に、一言語話者でも「顔」(特に、「肯定的顔」)の交渉に寄与しているといえる。

本ページはホームページに公開いたします。1ページに収めてください。